



ときめくエコデビュー！

平成26年度（2014年度）

おきがる環境講座 報告書



平成27年2月27日

特定営利活動法人えどがわエコセンター
実施団体 イノシシ倶楽部

平成26年度(2014年度)

おきがる環境講座 報告書

目次

1. はじめに
 2. おきがる環境講座 概要
 3. 活動報告
-

知って・学んで・実践! 広がる! 環境学習の輪

「おきがる環境講座」運営責任者
特定非営利活動法人えどがわエコセンター 副理事長 大和地 弘一

平成16年に区からの委託事業としてスタートした「環境学習リーダー養成講座」は、平成20年度から「おきがる環境講座」に名称を変え、今年度で11年を迎えることができました。地域やエコセンターで活動するための知識と必要なノウハウを基礎から段階的に学べる講座とし、昨年度の11講座から14講座(オープニング講演会、基礎6講座、ステップアップ4講座、小中校生3講座、リーダー・仲間づくり1講座)に増やし、449名の受講者の中からリーダー・仲間づくり講座は、13名の修了生が誕生しました。

今年度はESD持続可能な社会の基盤となる教育を視野に、小中学校の総合学習の一環として出前授業を行いました。

企画・運営面では、イノシシ倶楽部による運営も定着し、各講座のリーダー運営ノウハウも付き、組織的な体制で推進することができました。来年度は12年目を迎え、「おきがる環境講座」の更なる発展とそれを運営するイノシシ倶楽部の飛躍を期待したい。

講座開催に際しご協力いただいたパートナーシップ事業者等、イノシシ倶楽部やえどがわエコセンター事務局の方々のご尽力に感謝申し上げます。

(I) プログラム

- 開講に先立ちオープニング講演を実施し、東京大学名誉教授・国際連合大学名誉副学長の安井至氏に講演をいただき、環境問題を考える入口とした。
- 子ども環境学習は、瑞江小学校(4年生73名)、瑞江小学校(特別支援学級27名)、瑞江中学校(1年生105名)の計205名で実施した。
- 商品の原材料調達から廃棄までの間に、どのように環境に負荷を与えているか、“ライフサイクル思考に基づく環境教育”についてLCA学習を実施した。

(II) パートナーシップ

企業や他行政との連携事業として、従来の東京ガス(株)東部支店、花王(株)、江戸川総合人生大学に加え、新たに東京商工会議所江戸川支部、こども未来館との連携事業による環境学習を実施することができた。

(III) 人材育成

今年度リーダー講座の受講生は、江戸川総合人生大学の人が多く、13名の方が修了されエコセンター会員、イノシシ倶楽部や他団体に入会が期待される。エコセンターの担い手として今後の活動に期待したい。

(IV) 受講者数

目標300名に対し449名と達成できたが、小中学生講座で205名と全体の45%を占め、一般向けは全体的に集客に苦戦した。来年度も継続して、魅力的なプログラム開発やターゲットを絞った広報活動に努めていきたい。

平成26年度(2014年度) おきがる環境講座 概要

おきがる環境講座は、オープニング講演会、基礎からステップアップしてリーダー仲間づくり講座へと無理なく段階的に学べ、好きな講座を選択できることを特徴としています。
もう一つは、次代を担う子ども達への出前講座を開催しています。



オープニング講演会 環境問題を考える入口として

人類は何で苦境に陥るのか? エネルギーは? 資源は? 食料は? 気候変動は? 解決方法はあるのか? など 環境問題を考える入口として参加しましょう。

「地球の破綻」 21世紀版「成長と限界」 ～地球の未来を考えてみる～

■講師: 安井 至 (東京大学名誉教授・国際連合大学名誉副学長・NITE理事長)



基礎編 環境について学びたい方へ(6講座)

これから環境について学びたい方へ。エコセンターや区が取り組んでいる活動や事業、講演会、体験教室やバス見学会などに参加しましょう。

第1回 夏休み親子でエコを体験しよう ～夏休みの自由研究にぴったり。ガスと水について体験します～

第2回 花王すみだ事業場見学会 ～清浄文化史や花王のモノづくり・エコへの取組について学びます～

第3回 原っぱで生き物をさがそう探検隊 ～都市部の限られた環境に生きている生物や植物を観察します～

第4回 深刻化する異常気象 ～深刻化する異常気象の現状と将来予測を知り地球への影響を考えます～

第5回 環境問題の今(入門編) ～身近な環境問題から地球規模にいたるまで～

第6回 eco検定受験対策セミナー ～合格の可能性を高めたい方にお勧めのセミナーです～



ステップアップ講座 行動したい方への第一歩(4講座)

環境問題に興味を持ってこれから行動したい方へ。イベントに参加したり、見たり、聞いたり、体験しながら積極的な関わりへと「ステップアップ」します。

第1回 親子で食育菜園を体験しよう ～食べられる植物の香りや意外な特性・パワーを体験します～

第2回 最新のリサイクル施設を見にいこう ～家電や食品廃棄物処理等の現状を知りライフスタイルを見直そう～

第3回 みんなでやろう! 省エネ対策 ～家庭のライフスタイルにマッチした省エネアドバイスが受けられます～

第4回 買い物袋の一生(商品の一生を考える) ～日常のお買い物でCO₂の排出に繋がっていることを学びます～



リーダー・仲間づくり講座 環境学習リーダー養成講座(レッツ・エコデビュー)連続4回講座

～地域やエコセンターで活動するための知識や仲間づくり～
いよいよ地域エコデビューするために必要な技を伝授します。

第1回 地球環境と異常気象、エコセンター紹介、コミュニケーションのイロハ

第2回 エコについてグループで話し合おう&発表

第3回 活動している人たちとの話し合い&修了式と先輩との交流会

第4回 エコ活動イベントへの参加・体験(松江3りんしゃグランプリイベント)



小中学生講座 「子どもたちに環境学習を出前します」

ESD持続可能な社会の基盤となる教育を視野に小中学生を対象にした出前授業です。
総合学習の一環として学校単位に実施いたします。

第1回 小学生への出前事業 ～パズル等を使用し環境にやさしい生活を学ぶ体験学習～

第2回 中学生への出前授業 ～自分の持ち物の原料調達・生産・廃棄まで、環境への負荷を学ぶ～



1 オープニング講演会

「地球の破綻」21世紀版「成長と限界」 ～地球の未来を考えてみる～

講 師 安井 至（東京大学名誉教授・国際連合大学名誉副学長・NITE理事長）

概 要 人類は何で苦境に陥るか？ エネルギーは？ 資源は？ 食料は？ 気候変動は？ 解決方法はあるのか？ などについて最新情報に基づいた環境問題の第一人者の講演を聞き、環境問題を考える入口とする。

会 場 タワーホール船堀・研修室

対 象 者 一般

日 時 平成26年7月26日（土）13:30～15:30

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

長期的視点に立った諸データをベースに、地球の資源、環境など多面的な課題について独自の分析による解説をいただき、地球全体の環境問題や細部に亘ることまで聞くことができ、参加者に地球の未来を考える機会を得ることができた。講演会に加え、パネルディスカシヨンの意見交換を盛り込んだ内容を来年度に向け検討を進めてきたい。今後も区民への長期的思考で捉えた地球環境問題と身近な環境問題の講座の提供が、必要であると感じた。





2 基礎講座(第1回) バス見学会

夏休み親子でエコ体験をしよう ~夏休みの自由研究にぴったり。ガスと水について体験します~

講 師	がすてなーに・東京ガスの科学館 東京ガス(株)、東京都水の科学館
概 要	夏休みを利用して親子で、がすてなーに・東京ガスの科学館、東京都水の科学館を見学、ナゾを解いたり、ひみつを探検したり、クイズや実験にチャレンジしながら私たちの生活にかかせない「ガス」と「水」について学ぶ。
会 場	がすてなーに・東京ガスの科学館、東京都水の科学館
対 象 者	親子
日 時	平成26年8月3日(日) 8:30~17:00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

昨年度、見学先の予約がとれなく夏休み最後の日であったため、翌日から学校が始まることもあり19名参加にとどまったが、今年度は、夏休み最初の土曜日に開催することができ35名の参加につながった。普段は意識することのない、私たちの暮らしには欠かすことができないガス、水を見て、ふれて、体験するコーナーで楽しみながら学ぶことができて良かった。

また、子どもたちの夏休みの自由研究の場として提供できたのではないかと思います。





3 基礎講座 (第2回) 現地集合

花王すみだ事業場見学会 ~清掃文化史や花王のものづくり・エコへの取組について学びます~

講 師	花王すみだ事業場
概 要	豊かな生活文化を実現するために、“環境負荷の少ない製品”をより環境負荷の少ない方法でつくりだす企業のエコな取組や収集した史料等を展示したミュージアムで清浄文化の歴史について学ぶ。
会 場	花王(株)すみだ事業場
対 象 者	一般
日 時	平成26年9月5日(金) 9:30~12:00
主 催	特定非営利活動法人えどがわエコセンター

化粧品工場ではソフィーナの製造ラインを見学し、完全自動化された製造工程や環境を考慮した製品作りに感心した。清浄文化や花王の歴史、コミュニケーションプラザの3つの展示ゾーンでは、肌や髪の状態を測定したり、私たちの日常生活の中で使用している製品の製造と歴史を学ぶことができ大変有意義だった。



4 基礎講座 (第3回)

原っぱで生き物をさがそう探検隊 ~都市部の限られた環境に生きている生物や植物を観察します~

講 師 高木 嘉雄 (江戸川区子ども未来館・自然観察指導員)

概 要 都市部の限られた環境の中に生きている生物や植物の色や形を見たり触ったりして、生物の不思議さやたくましさを感じてもらおうと同時に、楽しみながら生物や植物観察し触れ合うことで、小さな生き物の命の大事さを学んでもらう。

会 場 小松川第二小学校跡地

対 象 者 親子

日 時 平成26年9月13日 (土) 13:00~14:30

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

マンション群の中にある小松川第二小学校跡地の自然豊かな原っぱにいる沢山の生きものにビックリ!!
こども未来館から自然観察指導員の高木さんをはじめ、斉藤さん、山崎さんを迎え、親子でトンボやチョウ、カエル、バッタ、ヤゴなどたくさんの生きもの捕まえて観察をし、専門家の話を聞き、楽しく生き物の不思議やたくましさ、命の大事さを学ぶことができた。





5 基礎講座 (第4回)

深刻化する異常気象 ～深刻化する異常気象の現状と将来予測を知り地球への影響を考えます～

講 師 村山 貢司 (気象予報士・財団法人気象業務支援センター・専任主任技師)

概 要 深刻化する異常気象による猛暑や局地的な豪雨で甚大な災害が起きている。本講座では、気象予報士から見た地球温暖化と異常気象の現状と将来を知り、私たちが暮らす陸域の約7割が海拔ゼロメートル地帯の江戸川区にはどのような影響があるかを考えてみる。

会 場 タワーホール船堀・303会議室

対 象 者 一般

日 時 平成26年9月18日 (木) 18:30～20:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

気象予報士の村山貢司氏を招いての講演は、今年で連続3年となったが、年々激しくなる集中豪雨、ゲリラ豪雨などの異常気象が地球温暖化による気温や海水温の上昇が原因していること、この影響や将来予測について、データに基づいた話だったので臨場感があり有意義だった。受講者からは、“シリーズ化して欲しいくらい充実した内容で、特に直近のデータを使用されていたのでビックリしました”と好評価だった。





6 基礎講座 (第5回)

環境問題の今 (入門編) ~身近な環境問題から地球規模にいたるまで~

講 師 北野 大 (江戸川総合人生大学学長)

概 要 江戸川総合人生大学とのパートナーシップ事業は7年目を迎え、今年度も北野学長のわかりやすくユーモアを交えた講座を聴講生として受講。「地球環境の今」をテーマに、過去から現在に至る地球環境問題を理解し、身の回りの環境問題に対する意識を新たにする。

会 場 篠崎文化プラザ・講義室

対 象 者 一般

日 時 平成26年11月12日 (水) 10:00~12:00

主 催 江戸川総合人生大学

後 援 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

今年度も北野大学長のわかりやすくユーモアを交えた講座を受講。「環境問題の今」をテーマに、過去から現在にいたるまでの環境課題の変遷をたどりつつ、差し迫った今日的課題を考えて見るなど、幅広いお話しで、1人1人のライフスタイルについて考える機会をもつことができた。

また、聴講生が江戸川総合人生大学の次年度生徒募集に応募つながることに期待したい。



eco検定

7 基礎講座 (第6回)

eco検定受験対策セミナー ～合格の可能性を高めたい方にお勧めのセミナーです～

講 師 (株)KAZコンサルティング

概 要 江戸川区が進めるECE登録事業者を対象に、社員一人ひとりの環境意識向上のために「eco検定」を受験し、環境問題に対する幅広い知識を身につけ、業務への環境知識の活用、職場での環境負荷低減や企業アピール等につなげる。eco検定は、これまで20万人を超えるエコピープル(検定合格者)が生まれ様々な分野で活躍しています。

会 場 タワーホール船堀 産業振興センター

対 象 者 一般

日 時 平成26年11月29日(土) 10:00~17:00

主 催 東京商工会議所江戸川支部

共 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

東京商工会議所江戸川支部との初めての連携事業として、主催者が進める「eco検定受験対策セミナー」にECE登録事業者から4社5名の参加があった。今後は、地球温暖化防止活動を通し資源の無駄使いをなくして、経費を節約するとともに事業所のイメージアップにつなげ、“エコタウン推進”の一端を担うことにつながることに期待したい。



8 ステップアップ講座(第1回) 現地集合

親子で食育菜園を体験しよう ~食べられる植物の香りや意外な特性・パワーを体験します~

講師 パソナアーバンファーム

概要 「自然との共生」をテーマに開設されたパソナグループの総合拠点「アーバンファーム」を見学し、天井や壁面に野菜や果実が実り、200種以上の植物が彩る館内で植物の癒しを感じ、また先進農業の技術に触れながら、食べられる植物の香りや意外な特性・パワーを体験し学ぶ。

会場 パソナアーバンファーム (JR東京駅八重洲口徒歩5分)

対象者 親子

日時 平成26年8月15日(金) 10:30~12:00

主催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

ビルの壁面や屋上に四季折々の植物が育成されており、オフィス内では野菜、植物のいろんな栽培環境を見学することができ、自然を取り入れたオフィス環境に新鮮さを覚えた。食育ワークショップでは、ハーブの歴史、効能を知り、触って香りを体験することができ、参加者全員にお土産としてハーブの挿し木をもらった。親子が共に興味深く、都会の新しい自然の取り入れ方や植物の効能などを見学、学習してもらうことができた。





9 ステップアップ講座 (第2回) バス見学会

最新のリサイクル施設を見にいこう ～家電や食品廃棄物処理等の現状を知りライフスタイル見直そう～

講 師 (株)アルフォ、東芝環境ソリューション(株)、(公財)東京都環境公社

概 要 東京都が循環型社会への変革を促進する目的に進めている「スーパーエコタウン事業」施設や23区内で発生する廃棄物の最終処分場を見学し、リサイクル意識の向上と先進的な廃棄物処理・リサイクル技術を知り、私たちが暮らす江戸川区の取り組み「Edogawaごみダイエット プラン」を理解し、3Rを意識したライフスタイルへの見直し行動につなげる。

会 場 大田区城南島、神奈川県神奈川区、江東区青海

対 象 者 一般

日 時 平成26年10月7日(火) 8:00～17:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

普段、接することがない処理施設を見学したことで、参加者の意識も変わり、実際の現場を見ることの大切さを実感した。3か所を回るタイトな見学会で心配したが、スケジュール等を施設見学先の理解もあり予定通り実施できた。30名の募集に対しキャンセル等で参加者が18名であったのが残念であった。区主催の同様の無料講座開催(11/5、12)も影響したと思われる。今後、開催に際しては、バッティングしないようにしていきたい。





10 ステップアップ講座 (第3回)

みんなでやろう! 省エネ対策 ~家庭のライフスタイルにマッチした省エネのアドバイスが受けられます~

コーディネーター 大庭みゆき (株)環境エネルギー総合研究所・代表取締役、工学博士

概要 家庭のエネルギー消費は、家電機器、住宅性能、家族の成長(ライフサイクル)によってエネルギーの使い方が変化します。そのため、その人、その家庭、そのライフスタイルにマッチしたエネルギー消費量の見える化と省エネ対策のノウハウやアドバイスを受けることができます。

会場 タワーホール船堀・307会議室

対象者 一般

日時 平成26年10月18日(土) 13:30~15:30

主催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

ふりかえりでは、参加者の受講前と受講後では、ほとんどの方が理解できたと回答があった。今回座学後に取り入れたワークショップでは、取り組んでみたい「省エネ対策」として受講者から20項目が提案され、今後日常生活での取り組みに期待したい。区民の中では省エネは定着している感があるが、地球温暖化対策として「省エネ」講座は大切であるので、更に視点を変えた講座を企画する必要性を感じた。





14 リーダー・仲間づくり講座 (第1回～第4回)

環境学習リーダー養成講座 (レッツ・エコデビュー)

講 師 大和地 弘一 (環境カウンセラー)、水上 泰輔 (環境カウンセラー)

概 要 環境問題への思いを実現させてみたい方、参加者同士の仲間や場づくりの輪を広げたい方へ、コミュニケーションのイロハや実践のノウハウを学びエコリーダーを目指す。

- 第1日目: 地球温暖化と異常気象、エコセンター紹介、コミュニケーションのイロハ
- 第2日目: エコについてグループで話し合おう&発表
- 第3日目: 活動している人たちとの話し合い&修了式・先輩との交流会
- 第4回目: エコ活動イベントへの参加・体験 (松江3りんしゃグランプリイベント)

会 場 タワーホール船堀・301会議室、産業振興センター、松江商店街通り

対 象 者 一般

日 時 第1回: 平成26年11月14日 (金) 18:30~20:00

第2回: 平成26年11月21日 (金) 18:30~20:00

第3回: 平成26年11月28日 (金) 18:30~20:00

第4回: 平成26年11月30日 (日) 10:00~15:00

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

平成13年度から毎年開催しているリーダー講座は14回を迎え13名の参加があった。

地球温暖化に伴う異常気象や日本の温室効果ガスの削減状況を学び、えどがわエコセンターの活動を知ってもらった。「エコ活動力を高めるために」の課題設定をしたワークショップでは、ブレインストーミングとKJ法を活用し、リーダーとして必要なコミュニケーションの大切さを再認識いただいた。ワークショップの議論や結果の発表では、環境教育の重要性が認識されたこと有意義であった。参加者は総合人生大学の方が多く、問題意識が高く今後の活動に期待したい。

14 第1回：11月14日（金）



14 第2回：11月21日（金）



14 第3回：11月28日（金）



14 第4回：11月30日（日）





12 小中学生講座

小学生への出前授業(1) ~パズル等を使用し環境にやさしい生活を学ぶ体験学習~

講 師 大和地 弘一 (環境カウンセラー)

概 要 子どもたちに、環境に関する知識の気づきを与え、日常生活での取り組みが、地球の環境に対して大きな影響を与えることに興味を持ってもらい、みんなで力を合わせることで、環境にやさしい社会を作ることができることを学ぶ。

会 場 江戸川区立・瑞江小学校・プレイルーム

対 象 者 瑞江小学校4年生 (73名)

日 時 平成26年9月26日 (金) 10:40~12:15

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

準備段階から校長先生、担任の先生と授業のねらい、学習ステップ等について打合せを重ね進め、有意義な授業ができた。地球環境の現状と温暖化は、新たに作成したテキストとDVD、PPを使い温暖化の主な原因はCO₂ (二酸化炭素) であることその仕組みについてもある程度理解できたと思う。ジグソーパズルの組立・環境言葉カードを体験「環境にやさしくない生活」と「環境にやさしい生活」を学んでもらった。





12 小中学生講座

小学生への出前授業(2) ～パズル等を使用し環境にやさしい生活を学ぶ体験学習～

講 師 大和地 弘一(環境カウンセラー)

概 要 子どもたちに、環境に関する知識の気づきを与え、日常生活での取り組みが、地球の環境に対して大きな影響を与えることに興味を持ってもらい、みんなで力を合わせることで、環境にやさしい社会を作ることができることを学ぶ。

会 場 江戸川区立・瑞江小学校・教室

対 象 者 瑞江小学校特別支援学級(27名)

日 時 平成26年10月17日(金) 9:40～12:15

主 催 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

特別支援学級の児童に対する初めての環境授業であったが、学校側と事前にプログラム構成の摺合せや、ツールを試してもらい可能であることを確認したことで、スムーズに実施できた。学校側との十分な打合せの必要性を感じた。1時間目は、1～6年生の全児童を対象にエコガイダーのDVDを鑑賞、2時間目は、3年生以上を対象にジグソーパズルの組立・環境言葉カードを体験「環境にやさしくない生活」と「環境にやさしい生活」を学んでもらった。環境に悪い行動には指摘する子供もたくさんいて感心した。



平成26年度「おきがる環境講座」受講者数

NO.	区分	講座名	受講者数
1	講演会 オープニング	「地球の破綻」21世紀版「成長と限界」 ～地球の未来を考えてみる～	52
2	基礎講座	第1回 夏休み親子でエコを体験しよう	35
3		第2回 花王すみだ事業場見学会	28
4		第3回 原っぱで生き物をさがそう探検隊	19
5		第4回 深刻化する異常気象	19
6		第5回 環境問題の今（入門編）	9
7		第6回 eco検定受験対策セミナー	5
8	ステップアップ講座	第1回 親子で食育菜園を体験しよう	15
9		第2回 最新のリサイクル施設を見にいこう	18
10		第3回 みんなでやろう！ 省エネ対策	15
11		第4回 買い物袋の一生（商品の一生を考える）	16
14	仲間づくり講座 リーダー・	第1回 地球環境と異常気象、エコセンター紹介、コミュニケーションのイロハ	13
		第2回 エコについてグループで話し合おう&発表	
		第3回 活動している人たちとの話し合い&修了式と先輩との交流会	
		第4回 エコ活動イベントへの参加・体験（松江3りんしゃグランプリイベント）	
12	小中学生講座	小学生への出前授業（小学4年生）（1）	73
		小学生への出前授業（特別支援学級）（2）	27
13	小中学生講座	中学生への出前授業（中学1年生）	105
計			449



発行：特定非営利活動法人えどがわエコセンター

編集&実施団体：イノシシ倶楽部

〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階

TEL：03-5659-1651 FAX：03-5659-1677

Eメール：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

ホームページ：http://www.edogawa-ecocenter.jp/
